

1. 件名：福島第一原子力発電所における循環注水冷却・滞留水等に係る定例会
2. 日時：平成29年6月23日（金）10時00分～11時05分
3. 場所：原子力規制庁 9階会議室
4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部 東京電力福島第一原子力発電所事故対策室

足立安全管理調査官、塩見安全審査官、三澤安全審査官、加藤安全審査官

元嶋係員、宮下技術参与、長崎技術参与

技術基盤グループ 安全技術管理官（核燃料廃棄物）付

南部技術研究調査官

福島第一原子力規制事務所

久我原子力保安検査官、坂本原子力保安検査官

東京電力ホールディングス株式会社 福島第一廃炉推進カンパニー

プロジェクト計画部 担当8名

5. 要旨

- 東京電力ホールディングス株式会社から、資料に基づき、以下の説明があった。
 - 3号機ジェットポンプ計装ラックラインを用いた窒素封入試験については、現在ステップ1～3を実施中であるが、これまで監視パラメータに有意な変動はみられていない。
 - 3号機復水器内ホットウェル天板上部貯留水の水抜きについては、6月1日から6日にかけて実施（水抜量：110m³）。今後、復水器内構造物等の調査を実施し、ホットウェル天板下部の水抜き方法を決定予定。また、1号機復水器内ホットウェル天板下部の水抜きについては、来週26日から準備作業を開始予定。
 - 地下貯水槽周辺地下水の監視モニタリングについて、本年3月に地下水の濃度が上昇した事象の対応及び監視を強化した件について、その後の状況説明等。
- 原子力規制庁から、本年3月の地下貯水槽周辺地下水の全β濃度上昇事案を受けての対応等について、説明が不十分であることから、「濃度低下の確認」や「濃度上昇の継続」など、その詳細について説明することを求めた。

6. その他

資料：

- 福島第一原子力発電所1号機ジェットポンプ計装ラックラインを用いた窒素封入試験の実施状況について
- 循環注水冷却スケジュール
- 燃料デブリ取り出し準備スケジュール
- 使用済燃料プール対策スケジュール
- 汚染水対策スケジュール
- 水処理設備の運転状況、運転計画（2017年6月16日～2017年6月29日）
- 3号機復水器内ホットウェル天板上部貯留水水抜実績について
- 地下貯水槽周辺地下水の全β濃度の現状について（コメント対応）
- 多核種除去設備及び増設多核種除去設備の機器配置図